



地域とともに発展する企業をめざして

2017年7月、矢崎グループ46カ国目となるセルビア共和国・シャバツ市にワイヤーハーネス（自動車用組電線）を製造する新会社を設立し、セルビア共和国における矢崎グループの新しい歴史がスタートしました。本特集では、矢崎グループの社は「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」の実現に向けた、シャバツ市とともに発展する矢崎セルビア有限会社（YSD）の取り組みをご紹介します。

シャバツ市とともに発展するためにYSDが注力する領域

1

従業員



モチベーションの維持・向上

- ▶ 学歴や経験などの違いによらない公平・公正な機会の提供
- ▶ 「End of Product」の考え方を重視
- ▶ 従業員からの要望に基づく迅速な改善

2

コミュニティ

YSDの操業を通じ
シャバツ市全体の活性化に貢献

- ▶ 雇用ルールの浸透
- ▶ 女性の社会進出の促進
- ▶ バス交通システムの拡充
- ▶ 近隣地域からの人口流入

3

将来世代

生徒たちの
記憶に残る教育をサポート

- ▶ 3Dプリンターの寄贈による新たな学びの機会の提供
- ▶ 高校で学んだ技術を活かす場（インターンシップ）の提供

矢崎セルビア有限会社（YSD）の概要

2017年9月26日にシャバツ市においてYSD開所式が執り行われました。この開所式にはカーメーカーをはじめ、セルビア大統領やシャバツ市長など多くのステークホルダーにご参加いただき、矢崎グループへの期待の高さをうかがえるものとなりました。従業員約500名でスタートしたYSDは、2017年度末時点で約1,500名まで増員し、着実に成長を続けています。



盛大に執り行われた開所式

セルビア共和国とは

バルカン半島の中心に位置するセルビア共和国は、ヨーロッパとアジアを結ぶ交通の要衝地です。穏やかな大陸性気候で、日本と同様に四季があります。激動の歴史を辿ってきたセルビア共和国の民族構成は多様性に富んでいるのも大きな特徴です。

面積	77,474km ² （北海道とほぼ同じ）
人口	712万人
首都	ベオグラード
民族	セルビア人、ハンガリー人等
言語	セルビア語（公用語）、ハンガリー語等
主要産業	サービス業、工業、農業
失業率	15.3%

※外務省ウェブサイトより引用



1

従業員 モチベーションの維持・向上

YSDの従業員は、学歴や経験などの違いによらず、採用、トレーニング、昇進などにおいて公平・公正な機会を与えられています。また、YSDでは従業員満足度の向上を目的に、さまざまな取り組みを通じてモチベーションの維持・向上を図っています。そのひとつとして、定期的な従業員満足度調査を実施し、従業員からの要望を的確に捉え迅速に応えるよう努めています。その結果、開所からわずか一年のうちに、さまざまな改善が実現しています。

また、YSDでは「End of Product」の考え方により、自分たちが作ったものがどこで、どのように使われるかを従業員が理解し、自分が何に対して価値を生み出しているかを明確にしています。これにより、従業員の仕事に対するやりがいや誇りなどにつながっていくことを期待しています。



トレーニングセンターで教育を受ける従業員

モチベーションの維持・向上に向けた主な施策

- トレーニングセンターやOJTの充実
- 工場内に人事部門への相談窓口を設置し、毎日従業員が相談できる環境を実現
- 従業員満足度調査を通じた改善（食堂の内装やケータリング業者の変更、通勤用バス会社の変更など）
- 労働組合との緊密な協議（2週間ごとにミーティングを実施）
- メディカルセンターの設置（従業員及びその家族も救急サービスを利用可能）

VOICE

従業員の声



Nikola Djekic
NYS Officer

私は建築関係の勉強をしてきましたが、YSDで働いてみて自動車技術の仕事に楽しさを感じました。これから自動車関係の大学で学び直し、さらに高みをめざしたいと考えています。私の好きなことを見つけるきっかけとなった会社に感謝しています。



Ana Timotic
NYS Officer

YSDはバックグラウンドに関係なく、皆に同じ教育や昇進の機会があります。私も昇進したときは、自分の努力が認められたと大変嬉しく思いました。これからも一層努力を重ねていきたいです。



Ana Jovanovic
Operator

私にとってYSDが初めての就職先です。当初は不安がありましたが、半年間にわたって3カ国で研修を受け、さまざまな経験をしたことにより、矢崎の仕事を理解し仕事へのやる気につながりました。今はオペレーターですが、今後はラインリーダーをめざしたいです。



Nikoleta Ilic
Senior Recruitment &
Communication Specialist

私はYSD立ち上げ当初から人事部門で採用活動を担当しており、従業員一人ひとりの顔を覚えていると言っても過言ではありません。皆気軽に声を掛けてくれるし、私たちのことを頼りに何でも相談に来てくれる。そして初めに雇用した従業員のほとんどが現在も継続して働いてくれるのは、トレーニングや昇進など、あらゆる段階において全員に公平な機会を与えられているからだと思います。今後もYSDの強みを活かし成長を続けるとともに、地域社会の皆様にもYSDのことを広く知っていただき、矢崎グループの家族が増えることを楽しみにしています。

VOICE

マネジメントの声



Ahmed Bedewy
General Manager

今はYSDにとって、事業成長に向けた過渡期にあるため、従業員のモチベーション維持・向上への取り組みが非常に重要と考えています。具体的な取り組みとしては、①達成したことを認め、皆で分かち合うこと、②将来のビジョンを共有すること、③自分が何に対して価値を生み出しているかを明確に示すこと、の3つの点を心がけています。

YSDの歴史はスタートしたばかりですが、従業員一人ひとりを大切にしながらより魅力ある会社をめざしたいと考えています。



目標達成を祝う集会の様子

YSD アンバサダー

YSDとコミュニティをつなぐ親善大使であり、P.13に示すローカルコミュニティでの採用活動のサポート等の役割を担っています。

2

コミュニティ YSDの操業を通じシャバツ市全体の活性化に貢献

YSDでは、事業を通じて地域の発展に貢献することをめざし、ローカルコミュニティに対し、人事部門やYSDアンバサダーが中心となって、積極的に会社紹介を行っています。行政とコミュニケーションを取りながら一歩ずつ着実に、シャバツ市に貢献していきます。

YSDでは他の矢崎グループと同様に、従業員を雇用する際に適切な契約を結んでいます。これまでシャバツ市では、企業が従業員を雇用する際のルールがあるにもかかわらず十分に機能していませんでしたが、このYSDの考え方が他の企業にも広がり、YSDが雇用を開始してからの2年間で約4,000名の市民が企業と雇用契約を結びました。この雇用のルールが浸透したことで、シャバツ市は市民の雇用状況を明確に把握することが可能となりました。

シャバツ市の一部のローカルコミュニティには、男性が働き女性が家を守るという風土が残っていました。YSDは女性に雇用の機会を提供するために、各ローカルコミュニティで女性の社会進出の意義を説明するなどのプレゼンテーションを行ってきました。現在YSDで働いている従業員の60%以上は女性であり、女性の社会進出に貢献しています。

雇用ルールの浸透

女性の社会進出の促進

YSD

バス交通システムの拡充

近隣地域からの人口流入

シャバツ市の交通網は発展途上にあり、通勤の不便を改善するため、YSDでは従業員に対し送迎バスを提供しています。公共のバス交通のシステムにおいてはYSDの操業を契機に、路線マップの拡充などの検討を開始しました。バス交通網が発達することにより、通勤手段の選択肢が広がるとともに、交通の便が悪く往來の自由が利かなかった住民の交通手段が確保され、経済の活性化に繋がることが期待されています。

YSDの操業は、シャバツ市近郊のコミュニティの人々にも雇用をもたらし、多くの従業員がその家族とともにシャバツ市に移住しました。また、YSDのサプライヤーの往来も促し、市への人口流入の増加につながっています。これにより、宿泊施設や娯楽施設などの社会インフラを整備しようとする気運も高まりつつあります。



VOICE

シャバツ市長の声



Nebojsa Zelenovic
Mayor of Sabac

矢崎グループの事業に対する姿勢は、シャバツ市で操業する他の企業にも広がり、シャバツ市の事業環境に良い変化をもたらしています。例えば、働く人々に交通手段を提供する企業が誕生したことに加え、全従業員に社会保険を提供しようとする企業が増え始めています。働く人々を守るために、シャバツ市で操業する他の企業が矢崎グループの姿勢を踏襲し、その経験を積極的に受け入れているのです。矢崎グループの進出は、シャバツ市がセルビアで最も企業進出に適した地域であることを、私たちに再認識させてくれています。

YSDによる事業や従業員教育へのさらなる投資、ならびにシャバツ市の経済人会議や共同プロジェクトへの参画など、矢崎グループによるシャバツ市への貢献を通じ、社会的責任への配慮が行き届いたコミュニティをともに築いていけることをとても楽しみにしています。

3



特集

地域とともに発展する企業をめざして

将来世代 生徒たちの記憶に残る教育をサポート

YSDは、将来のシャバツ市の発展を担う人材の育成を目的とし、地域の工業高校に新たな学びの機会の提供を開始しました。生徒たちにとって最良の学びの機会とは何か、何度も高校と協議を重ね、高校のニーズとYSDの考え方が合致する方法として、3Dプリンターを寄贈することとなりました。

これまで「モデリング※コース」の授業は、パソコン上で作品イメージを確認するところで終わっており、最終形態をみることはありませんでした。YSDでは、自分が何に対して価値を生

み出しているのかを明確にする「End of Product」の考え方を大切にしています。この3Dプリンターの導入により、生徒たちは自分がモデリングしたものを立体的に出力し、実際に触れ、その正確性を知ることができます。

また、2019年5月から提供を開始するインターンシッププログラムにより、生徒に実習体験の場を提供することで、高校で学んだ技術を活かし、将来への可能性を広げてほしいと考えています。

※模型製作のこと



VOICE

工業高校のDirectorの声



Cedimir Smiljanic
Director of Technical School

シャバツ工業高校について

名称: Technical School of Sabac

生徒数: 約940名

創立: 1907年

YSDの操業が本校の生徒たちの将来にもたらす影響は計り知れないと感じています。年間約300名の生徒が卒業しますが、以前は高校で身に付けた技術や知識を発揮できる就職先は限られていました。YSDの操業により、生徒たちの選択肢が拡大したことを嬉しく思います。そして、私がYSDを訪問するたびに、YSDへ就職した卒業生たちの活躍する姿を見ることができるのは指導者として大きな喜びであり、楽しみでもあります。

3Dプリンターの寄贈は、YSDの考えと本校の想いを重ねることで、生徒たちに質の高い教育をもたらすと期待しています。また、今後開始されるYSDへのインターンシップは、企業での就労や従業員の皆様との触れ合いを通じて、規律を学び、コミュニティの一員としての意識を育てることにつながっていくとともに、学生生活をより充実したものとするための気づきの機会になるとも考えています。

本校には111年の歴史があります。私たちの伝統を大切にしながら、学生たちがこれまで以上に質の高い教育を受けることができるよう、YSDとともに成長を続けていけたらと強く願っています。



シャバツ工業高校



工業高校での学習の様子

For Future 今後に向けて

YSDは、従業員、コミュニティ、将来世代などに対し、事業を通じた貢献を図っており、2017年には失業者に対して多くの雇用を提供した企業としてセルビア共和国から表彰されました。

今後は、地球環境保全にも配慮しながら、すべてのステークホルダーの皆様と調和のとれた企業活動を進めてまいります。



「National Employment Biro Award」

